



## ふれあいの丘天文館だより



### ★初心者天文講座

#### 『双眼鏡で冬の星空を見よう!』参加者募集★

- ◆日時 2月2日(土)午後6時~8時
- ◆内容 双眼鏡の基本的操作を学び、冬の星空を観望(オリオン座大星雲、すばるほか)します。
- ◆場所 ふれあいの丘天文館
- ◆対象 小学4年生以上  
(中学生以下は保護者同伴)
- ◆定員 30名
- ◆参加費 小中学生1名1000円、  
大人1名3000円(入館料として)
- ◆申込方法 1月7日(月)から電話または直接  
ふれあいの丘天文館まで申し込み
- ◆受付時間 午前9時~午後9時

### ★今月の天文情報★

#### ★縁起のよい星：カノープス(「リゅうこつ座」)

カノープスは、シリウスに次いで全天で2番目に明るい1等星です。冬の限られた時期、南の地平線すれすれに現れます。高度がとても低いため、大気の影響で暗く、赤っぽく見えます。関東地方より北では緯度が高いため見ることができません。

中国では「南極老人星(なんきょくろうじんせい)」あるいは「寿星(じゅせい)」などと呼ばれてい

ます。「南極老人」とは、長寿と幸福をつかさどる神様のことで、日本では七福神の「寿老人」や「福・禄・寿」として親しまれています。見つけることが難しいことから、この星をひと目見ると長生きができるという言い伝えもある縁起のよい星です。



#### ◎カノープスの見つけ方

- ・南の地平線が遠く見わたせる場所で、南中時刻(※)の前後に、最も明るく輝いているおおいぬ座のシリウスを目印に、その下の真南の地平線を目をこらして探してみてください。真冬の深夜ですので、暖かい恰好をして挑戦してみてください。
  - ・カノープスの南中(真南にくる)時刻の前後30分間くらいが観望のチャンスです。
- (※)南中時刻：1月中旬の午後10時30分頃  
2月中旬の午後8時30分頃

#### ■問い合わせ

ふれあいの丘天文館 TEL (28) 3 2 5 4  
<http://www.fureai-tenmonkan.jp/>

## ふれあいの丘自然観察館だより

新年明けましておめでとうございます。今年は、自然観察館が誕生して15年目の年になります。これからも「楽しく学べる地域のミニ博物館」として館の使命を果たすべく努力をしていきますのでよろしくお願いたします。

現在、栃木県立博物館の協力を得て、当館として初めての企画展「化石」を開催しています。一人でも多くの市民の皆さん、特に小・中学生に見ていただきたいと願っています。皆さんのご来館をお待ちしています。

11月上旬に数点の展示品が追加されました。新しく加わった展示品などを紹介します。

#### ●翼竜「プテラノドン」の登場!

中生代白亜紀(約8000万年前後)に生息していた翼竜の仲間、多くの化石は北アメリカで発見されています。翼を広げた大きさは7~9m、鳥のような羽毛はなく、空気の流れに乗ってグライダーのように滑空し、長くくちばしを水中に入れ魚を食べていたと推測されています。展示品はプテラノドンの前あし(翼の部分)の実物化石でとても貴重なものです。



プテラノドン

#### ●栃木県が「南国の楽園」だった?

「栃木県が温かい風が吹き、マリンブルーに輝く珊瑚礁の海だった・・・」現代の私たちには信じられませんが、事実なのです。このことは鹿沼市や那須烏山市の約1500万年前の地層から、サンゴや南方系の貝類の化石が産出されていることから推測されています。お正月にふさわしい温かい話ですが、これは人類が誕生するずっと前の出来事で、化石は当時の環境などさまざまな情報を私たちに伝えてくれているのです。



南方系の貝類の化石

#### ●那須にクジラがいた?

栃木県では、宇都宮市・那須塩原市・那須烏山市・那珂川町などで、多数のクジラ類の化石が発見されています。クジラの骨は大きくて頑丈なので、化石になりやすいようです。下の写真の展示品は「ヒゲクジラの下あご」(新生代の中頃)と考えられていますが、この化石は湯津上に近い那珂川の岸で発見されたものです。驚きですね。



#### ■問い合わせ

ふれあいの丘自然観察館 TEL (28) 3 1 3 1  
<http://www.fureaino-oka.com/shizen/>